

YMCA Camp Stories Vol. 43



全人教育を網羅した 新たなキャンプスタイル

仁木 啓介

Niki Keisuke

医療法人仁木会

ニキ・ハーティーホスピタル理事長

▼YMCAキャンプとの出会い

YMCAのキャンプとの出会いは、今から約50年前の小学校4年生の時です。母が熊本YMCAのキャンプに申し込み、全く何もわからず、参加したのが初めてでした。

YMCAのマークとフクロウの絵のアイロンシートを、Tシャツにプリントし、ワクワクしながら参加したことを覚えています。バスの中で歌ったキャンプソングの「スイカの名産地」は今でも歌うことができるほど印象的でした。日中は活動をし、飯盒炊飯とカレー作り、キャンプファイヤー、テントで寝るといったシンプルなキャンプでしたが、とても楽しかった記憶があります。

1年目は何も知らずに参加しましたが、2年目、3年目は、自ら喜んで参加していました。また、キャンプ場の入り口にあったトーテムポールは、とても衝撃的だったことを今でも鮮明に覚えています。



2016年1月にリニューアル
(YMCA阿蘇キャンプHPより)

▼あそぼうキャンプと心のケア

2011年東日本大震災の後、YMCA災害ボランティア講座が開かれ、心のケアの講座を担当したことから、再びYMCAとのつながりができました。その後、東日本大震災、九州北部豪雨、熊本地震の被災児を対象とした、あそぼうキャンプに、EMDR（Eye Movement Desensitization and Reprocessing: 眼球運動による脱感作と再処理法）学会の協力を得て、キャンプアドバイザーとして参加しました。

第1回のキャンプは、台風が接近する中、災害支援の拠点である安全なキャンプ場で行いました。参加したメンバーの中には、東日本からの避難者もいて、楽しむことはもとより、キャンプに参加することで、話をする仲間やコミュニティも生まれています。キャンプに携わるスタッフやリーダー、レイパーソンの協力もあり、安全感やトラウマ治療などを編み込みながら、キャンプを行いました。

トラウマをもつと、過覚醒からの多動や、情動の麻痺、解離などが起こります。キャンプでは、自然に対する恐怖を楽しさに置きかえ、自己コントロール感と自信を高めます。キャンプを終えるとき、子どもたちは「また来るね」と笑顔で帰っていきます。災害は、人から突然多くのものを奪います。人、物、場所など。お別れのできていない子どもたちに、別れの儀式をキャンプの中に取り入れることで、次のキャンプへのつながりと「きずな」が生まれます。



EMDRの仲間であり、みどりの東北元気キャンプの小林正幸先生（東京学芸大学教授）にも相談して、全員が1本のクレモナロープで繋がり、それを絆として再会を誓い、ミサンガにして持ち帰る、別れの儀式を2014年から取り入れています。日本を代表する各専門家が多数参加されており、医療面においても、医師3名、多数の臨床心理士を配し、片柳神父（カトリック宇部教会）も加わり、数々の問題において対処できるようにしています。

2017年からは、東日本大震災の被災児ケアとしてキャンプをおこなっていた小林先生のグループが加わり、「チャレンジ・バイ・チョイス」のプログラムを導入しました。医師と心理士が加わり、災害で影響を受けた子どもが、心のケアをしながら、大自然の中で生きる力強さを取り戻すお手伝いができる、日本でも類を見ないキャンプだと思います。これからもこの素晴らしいチームで、子どもたちの笑顔を創造できるキャンプを行っていきたいと思います。

▼これからの100年への期待

コロナの時代になり、すべてが形を変えなければならなくなっています。キャンプのスタイルも、ソーシャルディスタンスの確保が必要になっています。あそぼうキャンプのプログラムのプロセスは、その点において、とても参考になると思います。役割分担と分散作業、それぞれの成果物を持ち寄り、一つのことを完成させていく、これまでのキャンプの持つ全人教育を網羅しながらのプログラム実践、新たなキャンプスタイルといっても過言ではないと思います。



また、新たな試みとして、ソロキャンプや、2～3人のキャンプなども増えてくるのではないのでしょうか。近年、情動コントロールができない、我慢ができない、相手の気持ちに寄り添えない子どもが増えてきています。そして、課題としては、現在の教育の中での、自然体験活動の少なさです。協力しあって何かを作り上げる体験や耐える経験等、キャンプを通して学ぶと、思いやりとゆとりをもって大人に成長していきます。

様々な子どもたちと接することができる、スキルを持ったリーダーの育成が今後の課題です。キャンプに参加した子どもが、将来のリーダーになって、YMCAのキャンプを担ってほしいと思います。

Profile

ニキハーティーホスピタル理事長 / 院長
精神保健指定医、日本精神神経学会専門医
熊本県精神保健福祉協会理事、日本 EMDR 学会理事
日本臨床催眠学会理事、日本医師会認定健康スポーツ医



【取材:熊本YMCA 本田奈緒子】